

やまざと

会報5号 (96夏号)



金沢大学ワンダーフォーゲル部・OB会

OB会会長の挨拶

13期 大島 良治

皆様お元気でお過ごしでしょうか。

金沢は毎日梅雨らしい天候が続き、先日は豪雨に襲われ、各地で土砂崩れ、河川の氾濫にみまわれました。早く梅雨が終わり、スカーッとした夏が待ち遠しいのは、皆さんも私も、同じ気持ちだと思います。

5月11日(土)、12日(日)にOB山小屋作業を計画しましたところ、沢山のOBの参加をいただきました。お蔭で山小屋周辺は見違えるようになりました。

登り口は踏み段も新しくなり、小屋の周りには昔のようにテントが張れるようになり、又、かまどの周りにはベンチを作り、ゆったりと食事や雑談ができるようになりました。心残りといえば、水場の整備ができなかったことです。

でも安心して下さい。今秋の山小屋作業には水場の整備が出来るようにと、水の取り入れ口、

ホースの設置ルートとホースの長さなどを完璧に調査し、現場写真も撮ってきました。今秋の有志諸君の作業でもって、素晴らしい水場が完成するものと期待しています。

山小屋周辺の整備が完成した後は、高三郎への登山道の整備、そして最終的には、白山へ続く道の整備へと、夢は大きくなります。20年前の金大ワングルの目標であり、そして数年間チャレンジした夢でもあったのが、「白山への道」です。この「決して実現できそうもない夢」を、いつまでも大切にもってきたいものです。

話は変わりますが、この山小屋作業の期間中に、地元の北国新聞夕刊に

「伝統の登山道復活を 犀川源流の高三郎山 金大ワングル部とOB会」

の記事が、写真とともに大きく掲載されました。その日はたいしたニュースがなかったためだったのですが、私めのコメントも載っていたので、非常に感動しました。

翌日山小屋へ行き、先発の皆さんに報告した

ところ、一様に感動を隠せませんでした。残念なのは、記者があたかも同行取材したかの記事のように私はうけとりましたが、実際の記者は机上でそれらしく書いていただけだったのです。

(梶君の説明で判明。写真も昨年の撮影で、北国新聞の月刊アクタスにも掲載されたもの) 北国新聞は昔からあまり好きではないので、「バカヤロー、ちゃんと同行して書け！」と心の中で叫んだことでした。でも、私達の活動が、わずかでも世の中に紹介され、共感を得られれば、本当に嬉しいです。

最後に、秋の山小屋作業には沢山のOB諸君の参加をお願いし、又、期待しております。

追伸)

現在山小屋には、ワングル創設者の某氏が、修行のため住んでおります。(半年ぐらいの修業ときいております。)修行が満願成就しますようにお祈りします。

<表紙説明>

21期 竹中 敏

湿原で昼寝をしていると どこからかクマタカが飛んできた所です。

昼寝をしている人物は 草むらの中に隠れていて見えません。

でも 本人は 昼寝をしているので

クマタカが飛んできたことも知りません

2年ほど前に、八ヶ岳のふもとの小さな美術館で

辻 まことという人の画展がありました。

山の中を放浪することを、画文で描いた人です。

そんなものをかいてみたいなと思っています。



編者注；風のそよぎを頬に感じるような表紙…、そして自然への優しい、温かい目を感じるイラストを何点も、会報のために送っていただきました。

丹念に描かれた表紙原画は、額に入れ、ワープロ打ちに疲れた目と体を癒すのに隠匿させてもらっています。(役得じゃ。文句あっか！)

「伝統の登山道」復活を

犀川源流の高三郎山



金大ワンゲル部とOB会

金大ワンゲル部とOB会は今夏から、金沢市の犀川源流に位置する高三郎山(標高一四二七)で登山道の整備に乗り出すことを決め、OB十七人が十一日、荒廃の現状調査

整備や小屋も修繕

まず現状調査に着手

などに着手した。高三郎山は同部が代々、山登りの修練を積んだ場所。OB会にとっては思い出深い山とされるが、近年は部員の減少で疎遠になっていく。これに伴い登山道も荒れ、同部関係者らは「伝統の登山道」復活に全精力を注ぎたいとしている。

ブナ林などの原生的で豊かな自然に覆われた高三郎山は犀川ダム奥の二又川と倉谷川の二大水源に挟まれた形でそびえる。特にシヤクナゲの群生が有名で、山登り愛好者には魅力的な山として知られる。

金大ワンゲル部は長年にわたり、高三郎山を訓練場として親しんできた。新入部員は先輩からテントの張り方や飯、炊飯の基礎を学び、リュックに石を詰めて斜面を登るといった修練を積み重ねてきた。山登り経験が浅い部員は、先輩から登山道の整備に乗り出すことを決めた。十一日には大阪、福島、岐阜などから駆けつけた登山道を調べる金大ワンゲル部とOB会メンバー

荒れた登山道を調べる金大ワンゲル部とOB会メンバー
|| 金沢市の高三郎山

大島良治OB会長は「いかに荒れたOBが荒廃の激しいクラコシ尾根の現状調査やシヤクナゲ尾根の山道の整備、倉谷にある小屋の修繕に着手した。」

しかし、ひとときは百人を超えた部員が三十人近くに減少し、北アルプスなどの名高い山を好む傾向も強まり、最近では中級とされる高三郎山を登る回数も激減した。これに伴い高三郎山の登山道はかん木で覆われ、歩くのが危険な場所も目立つてきた。

このためOB会は今二ヶ月の役員会で話し合い、現役部員とともに高三郎山の登山道の整備に乗り出すことを決めた。十一日には大阪、福島、岐阜などから駆けつけた登山道を調べる金大ワンゲル部とOB会メンバー



OB会役員会の活動経過 とOB関係情報

(井は日時の確定していないもの)

- | | | | |
|-------|---|--------------|---------------------------------------|
| 12月井 | 製本手配 (北川) | | |
| | 井 | 会報4号発送 (久富他) | 5月8日 |
| | 96年 (平成8年) | | 最終打ち合わせ (辰野 岡部 舟田) |
| 2月7日 | OB会役員会通信N019発送 | | 5月11、12日 |
| 20日 | 金沢市予算折衝にて、高三郎登山道に助成金がおろる見込みに。 | | 第1回OB小屋作業 (19名参加 のへ32名) |
| 23日 | OB会役員会開催 (辰野 舟田 北川 岡部 梅 鳥越) | 21日 | 参加者へ写真送付と原稿依頼 |
| 26日 | OB会役員会通信N020発送
会報号外・返信葉書印刷 (坂尻)
発送ラベル作成 (名倉)
発送人ラベル作成 (鳥越) | 21日 | OB会役員会通信N023発送 |
| 3月18日 | OB会報号外発送 (舟田) | 6月5日 | 部誌BHの打ち合わせ (舟田 西馬) |
| 4月8日 | OB会役員会通信N021発送 | 6月14日 | 秋の小屋作業打ち合わせ (辰野 舟田 岡部 椿川 老田 阪本 西田 後藤) |
| 11日 | 金沢市スポーツ振興課へ挨拶 (稲葉 舟田) | 6月19日 | スポーツ振興課より春の作業分16万円受け取る |
| 15日 | OB会役員会通信N022発送 | 6月20日 | 田村さんBH滞在40日を経過 |
| 16日 | OB小屋作業の打ち合わせ (辰野 舟田 岡部 現役主将老田) | 6月26日 | OB会役員会通信N024発送 |
| 21日 | 小屋作業道具購入 (岡部 椿川) | 7月井 | 発送ラベル作成 (名倉) |
| 22日 | 小屋作業参加者へ最終案内 (舟田) | 井 | 会計報告・発送人ラベル作成 (鳥越) |
| | | 井 | 一言通信葉書作成 (坂尻) |
| | | 井 | 会報印刷 (中川) |
| | | 井 | 製本手配 (北川) |
| | | 井 | 会報発送 (椿川・久富) |



OB会役員も無事に任期の半分を終えました。
任期前半の反省、並びに今後の方針について、
2月23日、話し合いました。

* 会報の発行について

「年2回と決めないで、年1回や、時には年3回など、状況に応じてでもよいのでは」
「負担がかかるかもしれないが、年2回をベースとして維持したら、OB会の基盤であり、普通のOBは会報でやっとながっている状態にあるし」
「経費的には年2回の発行ペースを維持していける。それは、35周年の繰り越し金も含めた残高から見て」

「会報経費の6割強が郵送料。現在残高で発行ペースを考えるより、会費未納者からの入金促進を試みるべき」

「現在の事務局が出していけるのなら、年2回で進めていけばよい。その時の役員や事務局がやれる範囲の中での判断でよい。」
一年2回の発行ペースで今後も進める。

* OB年会費について

「会員の6割が納入。ほとんどが1万円の一括納入。年配OBや役員のいる代の期の納入率が高く、若い代の納入が少ない」
「会計年度は総会から総会まで。第1回役員会

では、強制せず、総会直前には未納者に繰り返し
しお願いをしてみる…ということだった」

「年2回の会報を受け取り、最新の名簿情報が
得られる点ではメリットを受けている。会計報
告もきちんと行っている。郵送費が一番食われ
ている点では、任意というより、もっと強めに
お願いできるのでは」

「OBは忙しくて、ちょっと横に置いて忘れ
るとか、いくつも請求がくるから、どれを払った
のかわからなくなってしまう。絶対払いたくな
いというOBはいないと思う。未納の人には、
未納であることをはっきり伝え、納入を促進す
る対策を講じてみたら」

「他の期のOBに催促しにくいようであれば、
各期代表からもお願いするというので、さら
にフォローしたら」

…丁度夏号は、振込用紙を同封する回。振込促
進策は会計トリさんが、智恵を絞ることに。

* 役員会・懇親会について

(10月の、OB役員と現役3回生合同の飲み会)
「半年、新人の育成にあたった3回生を慰労す
る趣旨はよいのでは。こういう時にも顔を合
わせないと、卒業してOBになっても何もわか
らない」

「現役の生の声を聞けるのは楽しい」

「現役にもそれなりの励みになってもらえたら
嬉しい」

…続きます

* 支部活動への援助

「東海ワングル会は、役員の旅費、役員分の会
費、連絡費を援助した」

「関東ワングル会など、今後地域のOB全体に
よびかける世話人が出てくれば連絡費を援助し
たい」

…現時点では動きなし

* 現役への補助金

1) 小屋作業

「93年には小屋修復金として別募集。94年、95
年は、各5万円を小屋作業時に渡した」

…金沢市からの補助金について、全額を現役に
回し彼等の士気を高めてもらう。OB側の出費
はOB会費から出し、労力を奉仕するOBを、
他のOBは会費で応援すると解釈する。

2) 部誌BH発刊への援助

「5年分の原稿となると、今の現役だけの責任
とは、いえない。これ以上の発刊延期は、次の
代の士気にも関わる」

「BH誌を同封する時には、別に千円の振込を
お願いするといったやり方もある」

…見積もりもでていない状態で、援助額を検討
できる段階ではないが、発刊できる方向への援
助をする。

* KUWV関係者とわかる ワッペン作成の件

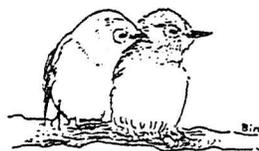
「あった方がよい」

「40周年事業にからめてみて」

…作成の方向へ。デザイン、費用検討の余地
あり。

* OB小屋作業について

(この時は、第1回の日時や、段取りをうちあ
わせ。詳しくは、本号の特集中に紹介)



OB一言通信



*田村 昭夫 3期

謹賀新年

今年は私にとっては還暦の年です。

「友よ、われわれがこの世を去る時、生まれたときよりも世の中を少しなりともよくしていこうではないか」

(ハーシェル・英国天文学者・18世紀)

それには自分にしか出来ないことを実行することだと思います。

日本で唯一の世界に通用する大学、会津大学は創立四年目を迎え、いよいよ来年は第一期生を世に出します。数少ないロジックICの技術者である彼等の未来に栄光あれ。

「やまざと」4号大変興味深く読ませていただきました。会津大学WVの顧問に就任。

*北 正昭 3期

やまざと95冬号拝受。

編集諸氏の御努力に深謝致します。「月見の宴」楽しく読ませていただきました。小生も参加の意、強かったのですが、都合がつかず断念しました。仙田兄が来られた由、かえすがえすも不参加が残念でした。

来る年もOB諸兄姉にはますます御活躍されんことを祈り、小生も壮健の気をもって事に当たりたいと念じております。

*川島 勇 5期

「やまざと」楽しく拝見いたしました。最近時間的余裕も出来ましたので、山歩きを改めて楽しみ始めました。昨年は富士山、谷川岳、安達太郎山等歩いてきました。今年もいくつか楽しみに計画しております。

*亀田 武 5期

「やまざと」ありがとうございます。いつも編集の係の皆様にはたいへんご苦勞をおかけしております。

年に1度か、せいぜい2度の掃沢しか出来なため、OB会の活動に協力出来なくて申し訳なく思っております。

*富田 征也 5期

やまざと4号楽しく読ませていただきました。青春時代にもどると同時に、心の中はいつ迄も青春でいたいと思います。

皆様方のご健勝をお祈り致します。

*金岩 孜 5期

会報をお送り頂きありがとうございます。OB活動を少しも行っていないこと、申し訳なく思っています。

WV活動で得られた経験・ネットワーク等をボランティア活動にも役立てられるようになってはどうでしょうか。(口出すのみで、足が伴いませんが...)

*合津 尚 6期

「宴の記」を楽しんでいただきました。昭和38-9年の建設当時よりアクセスが不便になっている感じがして、驚きました。

マラソンは4時間5分でした。今年のシーズンにあと2回エントリーしていますので、今度は切れると思います。

*白井 勇 9期

会報4号ありがとうございます。いつものことながら役員の皆様にはお手数おかけ致します。

暫く山歩きから遠ざかっていますが、そろそろ再開をと思っています。

*森川 功 11期

城はなくなったが、金沢の香りがする「やまざと」ありがとう。

それにしても年2回発行はたいへんでしょう。自然体で長く続くことを期待しています。

*浅見 裕子 14期

「やまざと」NO4ありがとうございます。現役部員の数が少ないのに驚くと同時に、現代の若者の姿が反映されているような、何か寂しい思いが致します。先日20年ぶりに15期の坂尻さんと逢う機会があり、たいへん懐かしく我が青春の日々が思い起こされました。(彼はベテラン高校教師の素晴らしい風格でした。)

12・14期赤地さんの住所変更お知らせします。

*松林 知一 15期

あけましておめでとうございます。旧年中はいろいろお世話になりました。「やまざと」4号ありがとうございます。「月見の宴」の感想はがきをバスしてしまい、心苦しく思っています。

本年もアウトドアライフの復活に向けて活動を再開したいと思っていますので、せいぜい声をかけて下さい。家族ともども本年もどうぞよろしく願いいたします。



*坂尻 忠秀 15期

やまざと4号ありがとうございます。正月ののんびりした時間の中で読んでいます。

昨年は阪神大震災、同期の横井君の死、月見の宴、穴水で開いた恒例の15期会…。多くのことがあり、多くの人の心の温かさが身にしみました。本年もよろしく願い致します。

*佐野 哲雄 15期

梅氏(19期)出演の花の百名山「白山」を、TV視聴しました。

身近に知っている人が出ているだけでうれしく思いました。

*舟田 節子 15期

字が下手なゆえに独学でものにしたワープロ(その御蔭でOB会もやってこれたのです)。柳の下のネズミならぬパソコンの方はそれだけの必要性がなく、今の所節税に貢献したのみ。それにしても、英語も読めぬ三男坊(小3)が

喜々としてテーマパークを拡大していく様を眺めると、髪を染めても、レンズを替えても、騙しきれない中身の老化をつきつけられてしまう。あせるか?それとも骨董の身を磨いて鈍く光る道を行くか?今はやっぱりあせて講習を受けに行く。

「次の可能性に手をかけておきたい!」一年頭の決意。

*川端 俊朗 16期

「やまざと」ありがとうございます。

金沢を離れ、はや20年が過ぎました。山歩きよりもネオン街をワンデリングする毎日です。

H7年は夏に1か月胆石で入院しました。その間横井先輩の死を知り、ベッドの上で祈りつつ命あることに感謝しました。またいつか白山を訪れたいと思い、忙しい日々に向かっていきます。

*藤野 達人 17期

過日は会報「やまざと」を有り難うございました。この度米国現地法人アライドシグナル・シドウシャキキコーポレーションに転職になりました。何か連絡事項がありましたら、今迄通り浦和の方へお願い致します。

追伸 会費をお払いしてありませんので、どのような支払い方法をしたらよろしいでしょうか。又、金額もお願いいたします。

(事務局より;郵便にて振替用紙をもらい、郵便振替口座 00780-3-14120)

金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会宛、ご送金下さい。年会費は2,000円ですが5年分一括(総会を区切りとする5年単位)1万円で、できるだけお願いします。)

*井上 茂良 18期

去年、子供(小6、小2)の運動会で、ぱったり20期の松下君に会い、大変懐かしく昔話等をしました。

金沢に行く機会がなく、OB会の催しに参加出来ないのが残念です。

*佐野 吏 19期

大学のインターネットにワングルのホームページを検討してみてください。部員同士、現役とOB、OBとOBの意見交換や連絡に活用できると思います。

*竹中 敏 21期

冬になると、会社の近くに、ルリビタキが山からおりてきます。暖かい日には、その声を聞くこともあります。夏の南竜のあたりで聞いたことのある、あの声です。



*小林 正人 22期

住所：変わりました。
電話：変わりました。
勤め先：変わりません。
本人：相変わらず軟弱です。

OB会をひっぱって行って下さる皆様には敬服しております。私も福井に戻って4年目になり、ようやく子供を連れて白山に登れるゆとりも出てきました。10年振りにスキーにも行きました。皆さんに比べて軟弱で残念です。

*酒井 智治 24期

役員の皆様ご苦労様です。
サラリーマンをしているだけで疲れてる私にとって、皆様のパワーには頭が下がる思いです。「やまざと」、通勤電車の中で、楽しく、懐かしく、読ませて頂きます。
また、OB会を通じて、思い出の金沢との接点を大切にしていきたいと思っています。

*荒戸 美雅 25期

日々の皆様のご活躍が「やまざと」を通して生き生きと伝わってきて、こちらの方も元気になってしまいます。

金沢には年に1度ぐらいしか帰省できないものですから、BHまで足をのばすには、事前に妻への根回しが必要です。ミッキーマウスでもいたら、子供も喜ぶかもしれません（ゴメンナ

サイ）。

そういえば、BHにいた強そうなアブはまだいるのでしょうか。

*中村 英治 25期

「エリー」のカレーセットを食べながら反省会をし、「信濃」のお好み焼き屋でドンチャン騒ぎをし、「赤玉」のおでん屋でしこたま飲み、「第7ギョーザ」のホワイトギョーザを買って下宿に戻った学生時代を懐かしく思います。

*益川 珠美代 26期

年末、当地では記録的な大雪（祖母が嫁いできからも記憶にないという）に見舞われました。困り切っている周りの人達の中で、私と犬は大喜びでラッセル。雪山とは全く縁遠くなっている日常に、思いがけずプレゼントされた<感覚>でした。

今年雪山へ行かれる現役・OBの皆様の安全をお祈りしています。

*藤田 章三、靖代 26期

お忙しい中、いろいろお世話いただき本当にありがとうございます。

「やまざと」楽しく拝見させていただきました。金沢へ帰省する度、白山を眺めて懐かしむ私達です。

OB、現役の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

*二木 博子 27期

1996年1月2日、男の子を出産しました。名前は「大地（だいち）」です。おらかな男の子に育てて欲しいと思っています。

*土井 泰彦 28期

事務局の方々、本当に御苦労様です。九州にいと金沢の情報もほとんど入りませんので、「やまざと」だけが頼りです。

先日、結婚式で金沢に行きましたが、大学の中へは全く入れず残念でした。

昔の若さを思い出しながら、仕事の苦しい時に励みにしている自分です。これからもよろしくお願いします。

*北村 久秀 28期

返事が遅くなりすみません。「やまざと」を読むたびに学生時代を思い出します。そして皆様の御活躍を知り、自分も元気づけられます。

*渋谷 敏行 29期

「月見の宴」の際は現役員部の皆さんや、準備にご尽力いただいたOBの方々には、大変お世話になり、ありがとうございます。

40周年記念山行には、私と同年代のOBが多数参加してもらえればと思います。

この11月にめでたく妻帯者となり、以下のとおり住所が変更となりました。

*野田 和裕 30期

最近パソコン通信やインターネットの普及で安価な情報交流が可能になってきました。

パソコンを所有しておられる方ならやっておられる人もあると思いますので、IDナンバー等を掲載するのもいいかもしれません。ちなみに私はニフティサーブID RXU00614 アマチュア無線もあります。JK3RTO です。両方ともあまり詳しくないですが、導入の際は協力いたします。

*今井 未央 34期

いつも御苦労様です。学校で年度末にクラス文集を作るだけでも非常に面倒くさいのに、いつも頭が下がります。(小学校教員のくせに面倒くさがり屋なんです。)この文があの会報に載るのかと思うと恥ずかしくて、いつも白紙でした。絶対に載せないで下さい。

(编者注…でも、載せてしまいました。デリカシーの無い編集人を責めて下さい。)

いつもただ慌ただしい社会生活の中で、のんびりと自由だったあのワンゲル時代を蘇らせてくれるこの会報を、大切に読まさせていただいています。本当にありがとうございます。

平成8年(1996年)3月27日(水曜日)

北 國 新 聞



移転のため撤去される「金沢大学」の石碑
＝金沢城跡の石川門前

卒業生の情しむ声も
金大事務局によると、「金沢大学」の石碑は昭和四十三年三月、二代目学長の石橋雅彦氏が退任の際に贈った。観光客がたびたび写真に収める姿、石川門と一体となつて金大の表玄関の象徴となつてきた。
このため金大は、城内から角間キャンパスへ移転後も石碑を現在地に譲すことを決め、異に対して平成六年十一月、キャンパス跡地に継続して設置するよう要望したが、県では回答を保留していたが、城跡取得後の金沢城址公園の整備方針

金大西キャンパス跡地の石川門前にあった「金沢大学」と刻まれた石碑が二十六日、金大角間キャンパスに移設された。近々石川門が跡地を返却し、新年度から公園整備に着手するため、大町は石碑が観光客に紛らわしい印象を与えかねないを考慮し、移転を決めた。石碑は長く金大のシンボルとして親しまれてきただけに、卒業生の間には移転を惜しむ声も出ている。

「紛らわしい」の声受け

残留から一転、移設

金大のシンボル、石川門前の石碑

金沢市からの登山道修復補助金について

(紆余曲折、思い違い、変更部分をカットして)

* (伏線) 95年9月23日

月見の宴の集合場所小立野キャンパスにて。
「尾山祭」の挨拶を終えた山出市長が、わざわざ車を停めて、
「山ですか？」
と声をかけていかれる。この時、
「高三郎登山道の修復もよろしく」
とお願ひしたのが、きいたのかどうか…?

* 現役3回生との懇親会の直前

ナカオ山岳会代表林正一氏より、「登山道の修復に動いているような団体があれば、補助金を出してやるように」という声が、市長から、農林関係の部署にかかり、そこから自分に問い合わせが入った。こちらは医王山のナカオ新道以外に手を広げる気はなく、もし金大ワンゲルが高三郎の道に取り組むつもりがあれば、そのように口をきいてきてもよいがとのご厚意あり。
懇親会の席で現役に聞いてみると返事

* 10月25日 OB会役員と現役3回生の懇親会

「部も個人も万年金欠で、是非お願ひしたい」との返事。その際、上馬さん、楯さんからは自然環境特別保全地区であるが、そのあたりを金沢市が行政サイドで解決しておいてくれるのかの懸念あり。
林代表に返事を伝える。

* 96年2月20日

林代表より、高三郎に30万円がおりの見込みとの連絡あり。

・補助金を出す部署はスポーツ振興課
・「どの地域に対して、どの森林組合が担当」と、請け負う団体を定める段階であった。地域と金額については、振興課が先に割り振り



してあるようだ。高三郎については、金沢市長より、指定地域に加えるよう特に指示があったらしい。

・窓口に來ているのがナカオ山岳会だったためか、担当者はナカオ山岳会と金大ワンゲルの連名での請負を主張。(全くのご好意での口聞きだったのに。この時、今回1回限りではなく、維持していくための酒代程度の継続援助も進言して下さったそうです)

* 4月11日

5期稲葉さんより、スポーツ振興課ということであれば、課長は自分の同級生。一度ワンゲルとして顔出ししてきましょう…とのことで、稲葉さん、舟田が市役所へ。

金子 衛課長は、稲葉さんとは中学時代の同級生。しかも5期山田 允さんに薦められて山靴を買い、一緒に医王山へ登ったこと、林 克郎さん他のOBもご存知なことがわかる。さらに、担当の尾崎 敬志主査は倉谷の出身ということで、「もしや、BH13号で取材した林業事務所の尾崎さんという方は…」「僕の親父ですよ」…(リラックスマード漂う)

ここで、名刺替わりの紙片<金沢大学ワンゲルフォーゲル部OB会事務局長 金沢ナカオ山岳会会計 舟田節子>を出す。

「ああ、これでわかった…」

(ようするに、折衝に来ているのは、ナカオ、
請け負うというのが金大ワングルで、どう繋が
っているのか、どう請け負ってもらえばいいの
かが、彼等の方もわかり辛かったものらしい)
「ワングルが学生だから困るとか、OB会が何
らかの組織として認められるものでないと困る
るとか、そんな点での不都合があるんでしょう
かね」

「補助金は、本来は作業に出た個人に渡すもの
であって、何月何日に誰が出たのか、誰が責任
者となってお金の受け渡しをするのか、それら
の報告がなされればよい。書類についても、代
表者名が分かればということになるので、不都合
はない」

「スポーツ振興課としては、市民に手頃な(高
三郎?)ハイキングコースを推奨していくとい
う立場で、そんなコースを整備している人達に
草薙程度の補助金を出そう…がこのお金の趣
旨です」

「その程度の趣旨なので、もし営林署や環境庁
がからんでくるようでしたら、これまでワングル
がやっていたことだし、そちらで話をつけて
おいて下さい」

地図、写真を使い、高三郎の現況を説明する。

「これは一年ではとても無理ですね」

「これでは、これからも出していかなんね」

(やった!)

「今年は、まず旧道の方で、頂上まで行ける状
態にしてみてください。あとは状況を見ながら進
めてもらうことに」

稲葉さんの

「わしはもう馬力がなくて作業まで出れんけど、
いいかになったら、一緒に行ってみようや」

「ほうや、わしも歩けるうちに歩かんなん」

で、なごやかにしめくくる。

500名OBの存在がワングルの財産になれば
…の願いが叶ったような嬉しい一時だった。

*5月小屋作業直前

梅さんより

営林署は、巡視の都合上は、整備してもらえ
るとありがたい。書類にすると面倒なので、「口
頭で確認した」とするの返事だった。

環境庁の方は、一応書類がいる。しかし、保全
地区をさわるのは秋になってからであり、秋に
なってから、私が作成しておきますの返事。

*6月4日

舟田、スポーツ振興課へ。小屋作業参加者名簿
を渡す。補助金額は30万円で決定。これは5000
円×60人で算定している額であること。案内板
については今年はず、秋にでも必要な箇所につ
いて報告を出して貰えば、次年度の予算に考
慮してみる。補助金は半額相当を今月中に渡し、
残りは、秋の作業後に渡す…等を聞く。

(林さんに聞いた話。普通補助金は申請額の半
額程度。それを見込んで申請したり、足りなけ
れば、次年度も申請したりする。この30万円と
いう額は、こんなケースでは、「よく出したな」
といえるだけの額らしい。ちなみに、登山道修
復の人夫賃の相場は日当11000 から12000 円。
その点では、日当5000円は半額程度のラインで
できた数字とみなせそう。)

*6月14日

現役3年生と秋の小屋作業の打ち合わせ。補助
金が30万円で確定したこと。秋の小屋作業後、
全額を現役に受け渡す旨確認。

*6月19日

尾崎主査、16万円(5000×32人)を届けにおい
でる。規定の報告用紙に、押印を集めておいて
欲しいとのこと。

